

【島のくらしの情報】

沼島・淡路島

<p>① 仕事(収入)の状況</p>	<p>人口の7割程度が漁業に従事しています。          なお、漁業への就業をする場合、県で漁業就業に関する情報提供事業や青年就業準備給付金事業もあります。</p>
<p>② 住居の状況 (貸家、空き家など)</p>	<p>空き家も含めて島内のほぼ全域で下水道工事が完了しています。</p>
<p>③ 医療環境の状況</p>	<p>民家のほぼ中央に位置する場所に診療所があります。(医師1名、看護師2名、事務1名)          急患等はドクターヘリの対応により淡路島内の医療センター又は四国地域の病院等に最短距離で向かうことができます。           また、月に1～2日程度歯医者さん(島外医師)が来て診察しています。</p>
<p>④ 福祉環境の状況</p>	<p>週に1回デイサービスを行っています。          そのほか、訪問介護などを利用することもできます。</p>
<p>⑤ 教育環境の状況</p>	<p>島内に小学校(児童8人、教師13人)、中学校(生徒10人、教師15人)があります。例年、神戸市六甲山小学校との交流を行っています。          高校はなく、淡路島本島に通学または県外へ進学しています。離島高校生修学支援事業で通学費の一部を補助しています。</p>
<p>⑥ 上下水道・電気・ガスの状況</p>	<p>水道の利用状況(普及率)は100%です。          ガスはプロパンです。          電気は海底ケーブルで運んでいます。島内にはオール電化の住宅もあります。</p>
<p>⑦ 本土との交通手段 (費用、時間、便数など)</p>	<p>【航路】          兵庫県南あわじ市土生港(神戸三宮バスターミナルから高速バスを利用し陸の港西淡下車。らんらんバスに乗り換え、沼島汽船場前で下車。)から沼島港へ。          沼島汽船「しまかぜ」または「しまちどり」で10分(1日往復10便)・大人往復900円(島民割引あり。大人往復800円。)</p>

<p>⑧ 島内の交通手段 (費用、便数など)</p>	<p>島内に公共交通機関がなく、徒歩での移動がメインとなります。      ※沼島汽船において、観光客向けに無料で自転車貸し出しをしております。(貸出時1000円預かり、返却時お返し)      なお、島内に信号機はありません。</p>
<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>【買い物場所】      商店などが3軒あります。      【物価例】 2016年9月末の価格      米(コシヒカリ)10kg:5,000円前後、卵(10個入り)1パック:250円程度、ティッシュペーパー(5箱入り)1パック:370円、ガソリン:119円(税込)、灯油:58円(税込)        ※最近ではネットショッピングを利用される方も増えています。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>直近では小学生の子どもがいる世帯が移住してきたほか、現在地域おこし協力隊2名が移住し活動しています。</p>
<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>特に支援はありませんが、十分に沼島を知って頂くために、アテンドをさせていただきます。</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>南あわじ市外から転入し、居住のため住宅を新築または購入される方に補助金を支給します。      (新築200万円に夫婦合計年齢が80歳未満は50万円、中学生以下の子ども1人につき20万円、市内業者を利用して新築した場合30万円の加算あり)      また、空き家活用補助(県)などもあります。</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らしについて伝えておくべき必要な情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対岸の土生港に自家用車を保有されると便利です。</li> <li>・地区の一斉清掃や寄り合いなどに積極的に参加し、自分から地域に溶け込む努力をすることが大切です。</li> <li>・島内での交通手段は徒歩か自転車、バイクがほとんどです。たくさんの荷物を運ぶ場合には『手押し車』と呼ばれる独特の一輪車があると重宝します。</li> <li>・お祭りの時などに来島するのもよいですが、普段の沼島を観光してみることをオススメします。</li> </ul>